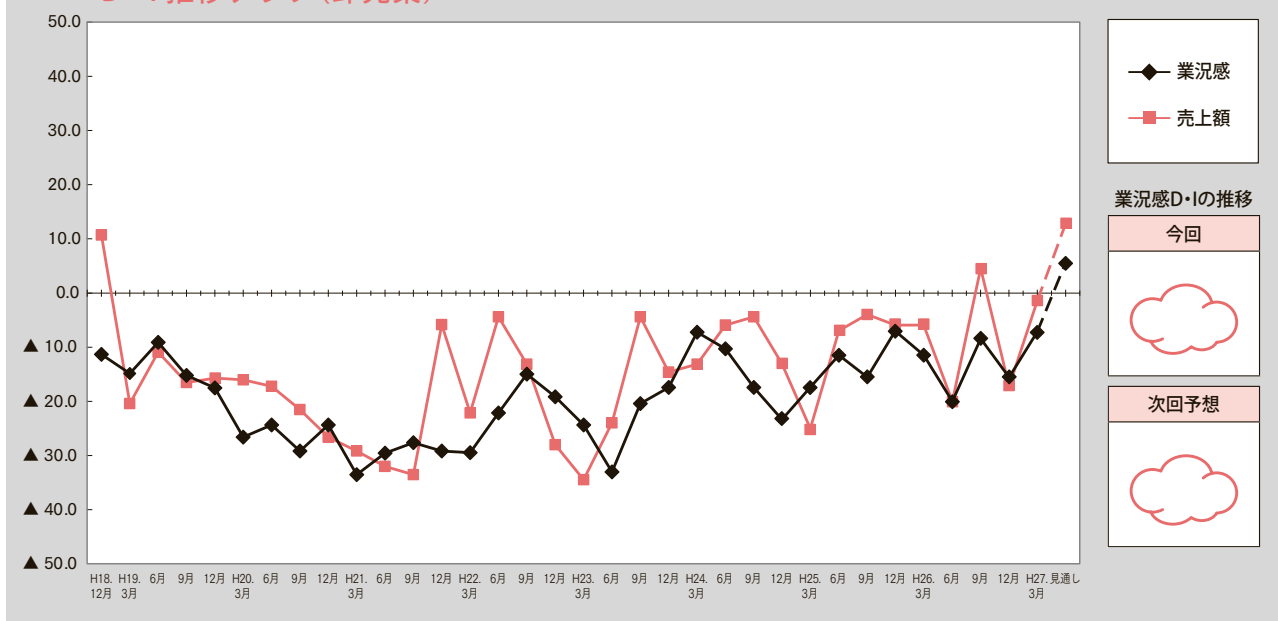


# 卸売業

Wholesale trade

# 業況感が再び改善

D・I 推移グラフ (卸売業)



## 1 今期 (平成27年1 - 3月期)

今期の卸売業の業況感は、▲7.1 (前期▲15.7)となり前期比8.6ポイントの改善となった。

前期は業況感をはじめとして多くの項目で大幅に悪化していたが、今期は売上額が前期比15.7ポイント改善した結果、特に収益D Iが大きく改善。前期の▲24.3からD I値が12.9ポイント上昇し、▲11.4となった。販売価格や仕入価格D Iは、前期に引き続き悪化。

## 2 来期の予想 (平成27年4 - 6月期)

来期はさらに改善が進み、業況感をはじめとするほぼ全ての項目で大幅な改善が期待されている。業況感D Iはプラスにまで上昇する見込み。

特に売上額、収益、販売価格D Iは、いずれも10ポイント超の改善予想。その他項目もやや改善する見込みとなっている。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H26. 3月期	H26. 6月期	H26. 9月期	H26. 12月期	H27. 3月期	来期 見込み
業況感	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 8.7	▲ 15.7	▲ 7.1	5.7
売上額	▲ 5.7	▲ 20.0	4.3	▲ 17.1	▲ 1.4	12.9
収益	▲ 8.6	▲ 21.4	▲ 2.9	▲ 24.3	▲ 11.4	4.3
販売価格	1.4	12.9	14.5	5.7	1.4	11.4
仕入価格	▲ 12.9	▲ 35.7	▲ 25.7	▲ 21.4	▲ 27.1	▲ 20.0
在庫	▲ 8.6	0.0	▲ 11.4	▲ 2.9	▲ 4.3	▲ 2.9
資金繰り	▲ 20.0	▲ 22.9	▲ 21.7	▲ 30.0	▲ 17.1	▲ 14.3
人手	5.7	10.1	11.4	5.8	5.8	5.8
設備状況	0.0	12.9	1.4	4.3	4.3	2.9

## 業況調査メモ

総合商社として鹿児島を拠点に九州一円で事業展開する南国殖産は今年3月で創業70周年を迎えた。2014年9月期売上高は過去最高の2218億500万円と好調な業績。エネルギー、情報通信、機械設備、建設資材の4事業部門を柱に、最近ではメガソーラーなどの再生可能エネルギー、かごま屋台村、農業、シニアマンションなど幅広い分野で次世代ビジネスに積極的に取り組んでいるのが光る。社長・会長を務めた故上野喜一郎氏はかつて「情報をいかに取り込みビジネスチャンスをつかむかが経営の要点」「衣ずれの音を逃すな」と語ったが、卸売業だけでなく企業経営全般に共通して言えることである。